

【会議録】

主 題 令和5年度 第5回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：令和6年1月24日（水） 午後2時～午後2時40分
- 場 所：つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階大会議室
- 出席委員：秋山義継会長、古谷隆夫副会長、廣瀬貢司委員、田中正利委員、富山和之委員
國下裕司委員、仲野俊二委員（代理：玉村翔太氏）、寺田明弘委員（代理：山浦俊一氏）、
山野井周一委員、飯島宣昭委員、八木岡道孝委員、荒井栄司委員、豊島美智子委員、
島崎邦雄委員、東ヶ崎祐二委員、池田和美委員、笠川輝章委員（代理：高野正敏氏）
神達隆樹委員（代理：坂巻直彦氏）、大久保益雄委員、
細谷知英委員（代理：上田洋輔氏）
以上 20名
- 欠席委員：小川一成委員、澤島政志委員、服部 透委員
以上3名
- 事務局：都市建設部 飯泉部長
都市計画課 成嶋課長、藤倉課長補佐、堀越係長、岩上主事、小松主事

- 次第
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議題
 - 協議事項
 - (1) 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について
 - 報告事項
 - (1) コミュニティバスの運賃及び運賃助成について
 - 4 閉会

議題

協議事項

- (1) 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について
令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について説明し、承認された。

報告事項

- (1) コミュニティバスの運賃及び運賃助成について
コミュニティバスの運賃及び運賃助成について報告した。

●会議録

- 1 開会（午後2時）
- 2 会長あいさつ
- 3 議題

協議事項

- (1) 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について
令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について説明し、承認された。

【質疑等】

委員意見：添付資料の中で、計画期間の収支率が12.69%とあるが、これは市の組んでいる

予算をオーバーしたりするなどの大幅な狂いはあったのだろうか。

事務局：収支率については、前年度が 11.37%と約 3.6%上昇する形となった。この間茨城県の最低賃金の上昇による経費の増加があったが、それを踏まえても微増する形となった。ほぼほぼ同水準で推移しており、事務局想定、及び予算をオーバーするという事はなかった。

委員意見：添付資料の中の資料で、タクシーの「走行距離」と「運行距離」が記載されているが、これはどのような違いがあるのだろうか。

事務局：「走行距離」については、タクシー会社から出庫してから帰庫するまでの距離となっており、「運行距離」は利用者の方を乗せている間の距離である。そのため数値に差が出ている。

報告事項

- (1) コミュニティバスの運賃及び運賃助成について
コミュニティバスの運賃及び運賃助成について報告した。

【質疑等】

会長：コロナが収束してきて、利用者の方の公共交通の利用回数も増加してきている。先程の説明にもあったがつくばみらい市の高齢化率は約 26%。今後 30%に上昇する可能性もある。公共交通を充実させると同時に、65 歳以上になると免許返納の問題も出てくるが、あくまで返納は自主的な判断であり、自身の運転に不安を感じるとか家族に打診されたときに返納すべきだと考えている。公共交通を充実させることによってマイカーを規制するのではなく、マイカーも理想的な形で使っていく。そして公共交通は交通弱者の方に使っていただくことでいろいろな方と触れ合う、買物で外出する機会を作ってあげることが大切だと考えている。また、公共交通についてはつくばみらい市だけでなく、近隣自治体と連携して公共交通の在り方を検討していく必要がある。本日も他市町村の担当の方にも出席していただいておりますが、どのようにすれば利用者の利便性向上に繋がっていくのか、連携していかなければならない。

委員質疑：料金体系についてだが、参考として他市のコミュニティバスの料金を教えていただきたい。

各市交通担当者より、各市コミュニティバスの料金体系についてご説明をいただいた。

4 閉会（午後 2 時 40 分）

●配布資料

【資料 1】 令和 5 年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について

【資料 2】 コミュニティバスの運賃及び運賃助成について